

第5章

豊かなこころを育むまちづくり (教育、文化・芸術、スポーツ)

基本方針

みやま市の未来を担う「ひと」づくりのため、
「生きる力」を育むとともに、
さまざまな交流や生涯学習のための環境づくり、
さらには本市の個性ある伝統文化等を通して、
郷土を誇りに思う「心」づくりを推進します。

施策体系

● 豊かなこころを育むまちづくり ●

- 1 生きる力を育む学校教育の充実
- 2 地域教育力の充実
- 3 生涯学習の推進
- 4 スポーツの振興
- 5 文化・芸術の振興と文化財の保護・活用
- 6 多様な交流の推進

1 生きる力を育む学校教育の充実

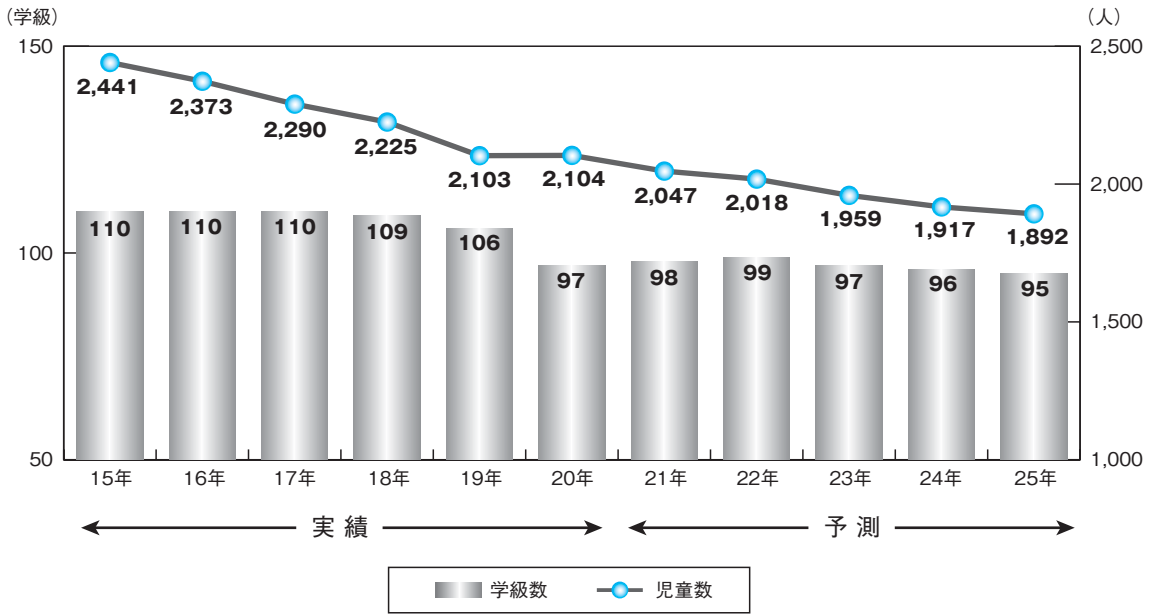
現状と課題

- 本市には小学校15校、中学校4校があり、平成20年5月1日現在で児童数は2,104人、生徒数は1,138人となっています。また、高等学校が1校あります。
- 少子化の影響などにより、児童、生徒数は減少傾向にあり、一部の小学校においては複式学級が設置されており、学校の適正規模の検討が求められています。
- 児童、生徒の学力について、全国学力・学習状況調査などの調査結果からは、小学校、中学校とも基礎的基本的な学力については、おおむね身に付いている状況にありますが、全国的な傾向と同じく、本市においても、学ぶ意欲や規範意識、自尊感情、体力において、やや低下している傾向にあります。
- 小学校、中学校においては、「自然宿泊体験学習」、「ボランティア（福祉・教育・環境）体験学習」、「職場体験学習」等を通して、生きる力を育み、社会性や豊かな人間性を持った生徒の育成に努めています。
- 小学校、中学校においては、開かれた学校づくりを進めるうえで、地域人材の活用などの地域との連携や学校同士（異校種、同校種等）の連携、さらに行政との連携を進め、情報を共有化していくことで学校、家庭、地域の三者の結び付きを強化していくことを重要な課題として捉えています。
- 豊かな心や人間性、社会性等を育てていくためには、学校や家庭、地域において、あいさつや基本的な習慣に関する、実体験を重視した教育が必要になっています。
- 教育基本法や教育関連三法の改正に伴い、学校評価システムの構築等が、地域や保護者等から信頼される学校や教育委員会づくりのために必要になっています。
- 今後は、教育水準の向上を図るため学校と家庭・地域の連携が大切です。また、児童生徒の長所や個性を伸ばすことができるような教育が重要となっています。
- 教職員の資質・能力の向上については、本市でも国、県主催の研修会・研究会への参加、市内小中学校との交流等を通して資質向上に努めていますが、今後も教師としての専門性ととも、人間性にあふれ、多様な経験を持つ教員を養成する必要があります。
- 開かれた学校づくりが進められている一方で、学校周辺も含め不審者等の問題が発生しており、子どもたちをとりまく不安を解消し、地域ぐるみの安全で安心な取り組みが求められています。
- 校舎や体育館など一部では老朽化が進んでいる学校施設があり、現在、対象施設の約6割の耐震診断を実施していますが、今後は、建築経過年数に応じて施設の建替え、補修・改修などを継続して行う必要があります。
- 学校給食の食材において、積極的に地産地消に取り組んでいます。
- 学童農園等において農業体験学習として農作物の育成（栽培・収穫）を行い、地産地消の考えのもと給食や料理に利用しています。

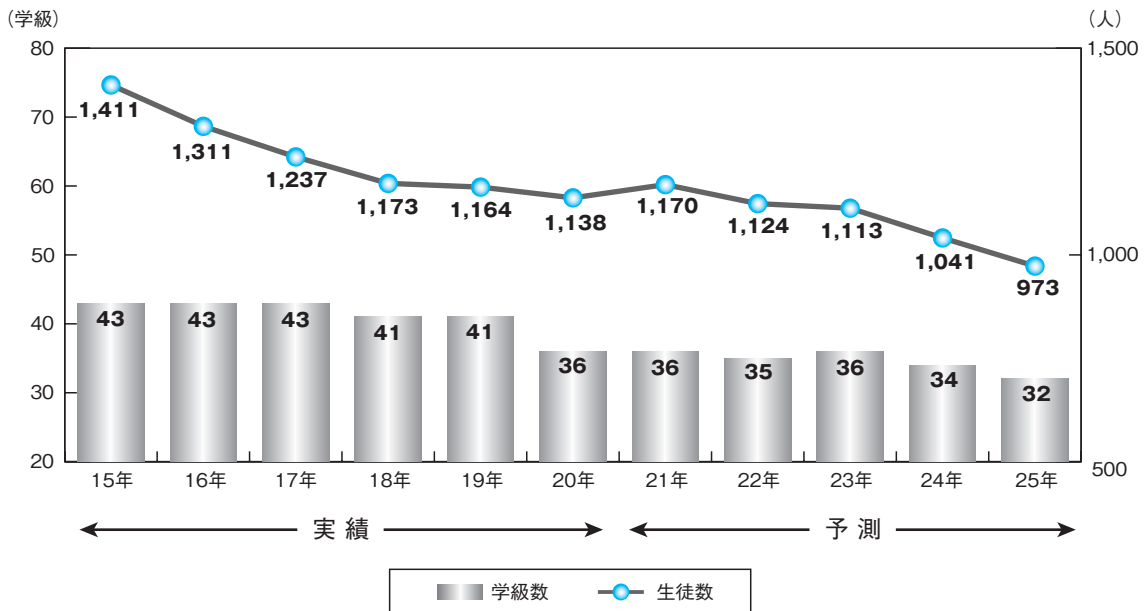
- 栄養士による「食に関する指導」の時間を設け、食べ物の大切さ等を教えるなど、食育の啓発に努めています。

■ 学級数・児童生徒数の推移と予測 ■

【小学校】

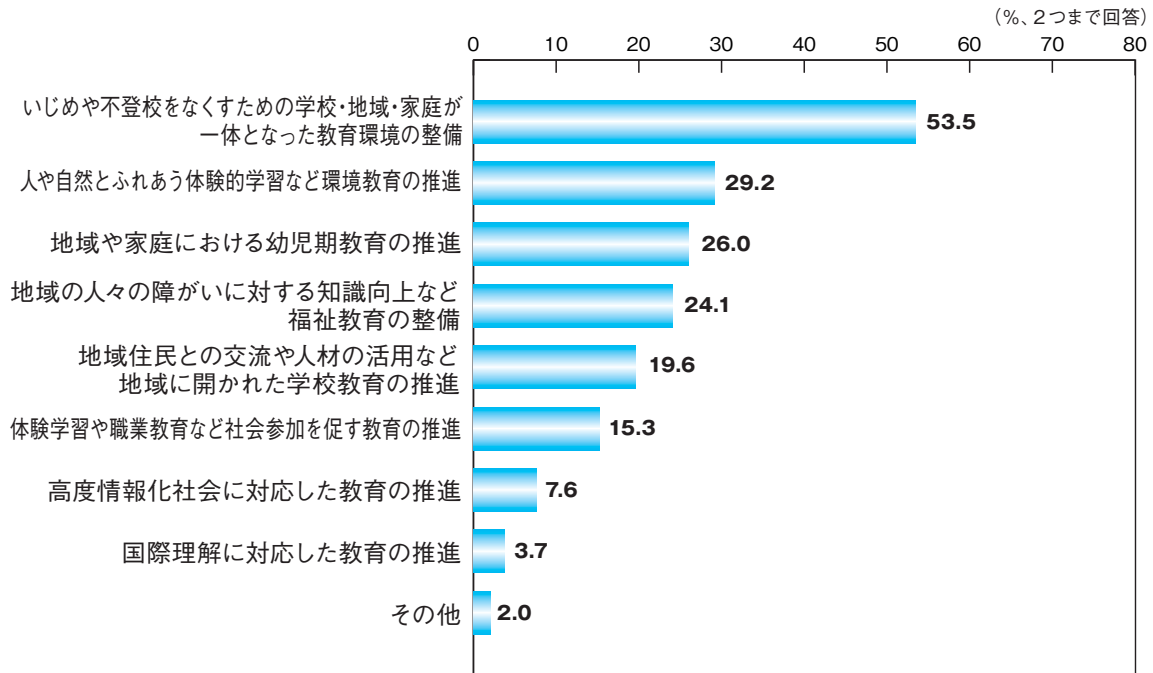


【中学校】



資料：(実績) 学校基本調査 (各年5月1日現在)

■ 豊かな人間教育のために特に力を入れるべきこと（住民アンケート） ■



主要施策

1-1 学力の基礎・基本の習得

児童生徒の基礎学力の向上を図るため、学校ごとの創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成と教育活動の実践に努めます。

- 学力向上プランに基づいた学習活動の展開
- 児童・生徒の実態に応じた指導内容や指導方法の充実

1-2 知育・徳育・体育のバランスのとれた学校づくりの推進

生きる力を育み、豊かな心と個性を持った児童生徒の育成に努めるため、学校、家庭、地域が連携し、開かれた学校づくりや、地域の人や文化に触れる体験学習など多様な学校教育を推進します。

- 道徳教育の推進を通じて道徳心と実践力を育てる教育活動の充実
- 運動に親しみ体力の向上を図る習慣の育成
- 環境保全への理解と実践力を育む環境教育の推進
- 豊かな人間の育成を目指した福祉教育の推進
- 人権教育を通じた差別やいじめのない環境づくり
- 小学校からの英語活動の充実やALT（外国語指導助手）を活用した国際理解教育の推進
- コンピュータなどを活用した情報教育の推進
- 学校行事を通じた勤労体験やボランティア活動、芸術・文化等幅広い分野にわたる専門家に

よる特別授業など多様な活動の充実

- 集団活動及び体験的な活動を通して自主性、自発性を重視する特別活動の充実
- 校内や学校間の情報ネットワークの構築促進

1-3 信頼されるためのシステムの構築

児童、生徒がいきいきと学校生活を過ごしながら、生きる力を身に付けていくためには、学校そのものが家庭や地域から信頼され、さらに教育行政も家庭や地域から信頼できる存在になるように評価等のシステムづくりを推進します。

- 各学校における自己評価や学校関係者評価のあり方や報告、公表の仕方などの学校評価システムの構築
- 情報の共有化に向けた、学校間（異校種、同校種等）や学校と地域及び行政との連携強化

1-4 教員の資質・能力の向上

演習・実習・体験型の研修プログラムを通して、教職員の資質向上に努め、児童・生徒へのよりよい指導の実践を通して保護者等から信頼される教職員の育成に努めます。

- 学校の課題に対応した校内研修の充実
- 教育研究事業や教育センター等への積極的な参加の促進
- ボランティアなど校外研修の積極的導入
- 地域や家庭と教職員の積極的な交流の促進
- 教育研究大会、授業研究会、教育講演会の開催
- 教育研究所の充実
- 人事評価の適正な実施及び研修等への有効活用

1-5 子どもの安全確保

登下校時の危険から守るための安全対策や不審者対策等を講じるとともに、計画的な小中学



小学校新入生

校の改築や改修など、安全で快適な学校施設の環境整備を推進し、児童・生徒の安全・安心の確保に努めます。

- 学校の安全対策と児童生徒の危機回避能力の育成
- 校区防犯パトロール等による地域防犯体制の充実
- 交通安全指導の徹底と通学路や街灯の整備
- 校舎等の安全性を確保するための耐震診断を計画的に行い、必要に応じて改修維持補修の実施

1-6 食育の充実

地産地消による学校給食や食農教育の推進などにより、子どもたちが食の大切さを学び、好ましい食習慣と豊かな心を身につけるために食育の啓発に努めます。

- 安全・安心な給食への取り組みの推進
- 学校・地域・家庭への食育に関する研修会等の開催

1-7 児童・生徒数の減少への対応

児童・生徒数の減少に応じて、長期的な視点に立って住民の理解を得ながら、学校施設の統合・再配置や通学校区の見直しなどを積極的に推進します。

2 地域教育力の充実

現状と課題

- 小中学校期は学力の向上や心身の調和の取れた人間形成を育む重要な時期ですが、近年いじめや不登校の問題、青少年非行の低年齢化、家庭や地域における教育力の低下など深刻な問題も懸念されます。
- 福岡県の県民運動「青少年アンビシャス運動」を踏まえて「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持つたくましい青少年」の育成を目指し、家庭、地域、学校、企業が一体となった運動を積極的に展開しています。
- 学校現場においても、地域に開かれた学校づくりのため、学校独自の授業参観の実施や地域の優れた人材を活用した授業の取り組みが、今後とも必要となっています。
- 国の教育再生会議の議論の中でも「『社会総がかり』で子どもの教育にあたる」ということが提言されており、子どもの育成は学校だけでの問題ではなく、住民や家族、企業といった地域の関係者が一体となって連携できる体制づくりが当面の課題となっています。

主要施策

2-1 地域教育環境の整備

青少年健全育成市民会議を立ち上げ、住民への青少年健全育成に対する理解と協力を得られるよう努めるとともに、地域教育を展開するリーダーの育成を図ります。

- 地域行事やボランティアへの積極的参加による地域教育の推進
- 地区公民館を中心とした世代及び地域間交流の実施
- 団塊世代の多様な経験や知識・技術を活かす体制づくり

2-2 地域の人材活用

学校と地域が一体となって、学習支援者を募り、学校運営を支援する体制の整備を図ります。

- 外部講師を視野に入れた人材バンクの登録整備
- 総合的学習における豊かな体験活動を指導できる人材の育成と活用

2-3 家庭教育力の充実

保護者への家庭教育に関する意識啓発を進め、教育機関、地域、住民が一体となって家庭教育力の充実に取り組みます。

- 家庭教育に関する講演会、各種講座、学習会等の実施
- 公開授業、保護者会、各種学校行事への積極的な参加の要請
- PTA活動と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進
- 家庭と学校で取り組む児童生徒の生活習慣・学習習慣の形成
- 家庭、学校、地域ぐるみで取り組む「あいさつ運動」の推進

3 生涯学習の推進

現状と課題

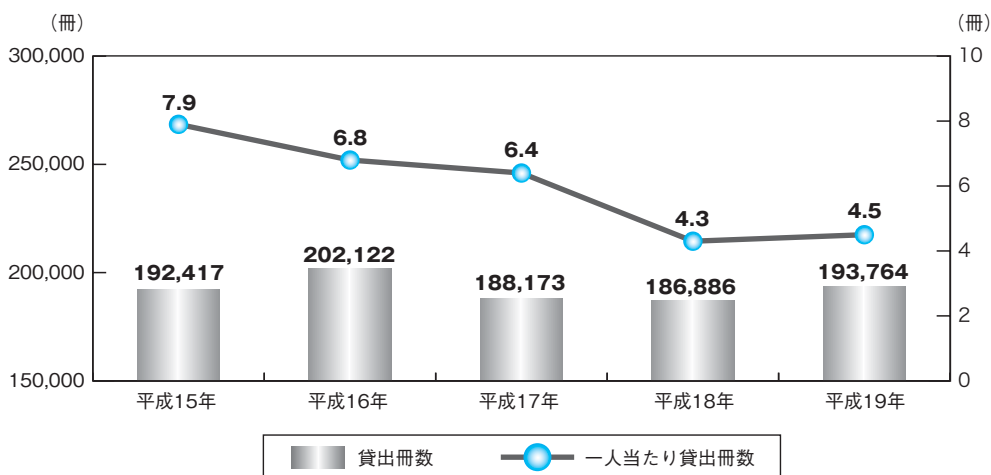
- 高齢化が進展している中、生涯において住民一人ひとりが目標をもち、充実した生活を送ることができる社会を築いていくことも重要です。住民がいつでもどこでも自由に学ぶことができる、生涯学習の推進が必要です。
- パソコン講座、外国語講座、高齢者大学等を通して生涯学習の場の提供を図っていますが、機材の老朽化や指導者不足などの課題を抱えています。
- 施設面では文化施設や体育施設等が充実しており、生涯学習の拠点として活発な利用がなされています。
- 拠点の一つである公民館は、瀬高地区では校区公民館が整備されていますが、山川、高田両地区は学校の空き教室や他の公共施設などを利用して整備していく必要があります。
- 地域づくり学級、分館講座、出前講座の講師派遣や子育てグループへの情報提供等各種講座の充実やサークル活動など自主的活動の支援を行っていますが、自主的活動を推進するリーダーの育成が必要となっています。
- 市立図書館、山川市民センター図書館及びまいピア高田図書館は多くの住民から利用されていますが、3館を結ぶ図書館ネットワークが整備され、インターネットの活用等利便性が高まりました。今後は多様な情報を発信しながら利用者の増加を図る必要があります。

■ 生涯学習施設の状況と利用者数の推移 ■

| 生涯学習施設名 | 仕様等 | | | 利用者数（人） | | | | |
|--------------|----------|----|----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 延床面積（㎡） | 構造 | 階層 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
| まいピア高田 | 5,064.46 | RC | 3 | — | — | — | 47,612 | 86,191 |
| 山川市民センター | 2,195.70 | RC | 3 | — | — | 11,701 | 8,693 | 20,383 |
| 瀬高公民館 | 2,341.00 | RC | 2 | 66,177 | 69,724 | 65,897 | 65,142 | 63,647 |
| まつばら館 | 364.92 | RC | 1 | 5,662 | 6,266 | 5,525 | 4,775 | 4,873 |
| 上庄公民館 | 249.84 | RC | 1 | 6,504 | 5,802 | 6,288 | 6,049 | 6,382 |
| 下庄ふるさと館 | 338.00 | RC | 1 | — | — | 18,580 | 11,546 | 11,431 |
| 舞ハウス | 554.06 | RC | 1 | 12,928 | 10,922 | 11,815 | 14,776 | 14,684 |
| 瀬高農村環境改善センター | 802.07 | RC | 1 | 19,080 | 16,885 | 17,520 | 16,605 | 15,258 |
| くすのき館 | 588.40 | RC | 1 | 12,184 | 13,450 | 12,884 | 11,732 | 10,925 |
| 清水公民館 | 561.75 | RC | 1 | 12,586 | 8,837 | 8,923 | 8,811 | 9,053 |

資料：生涯学習課

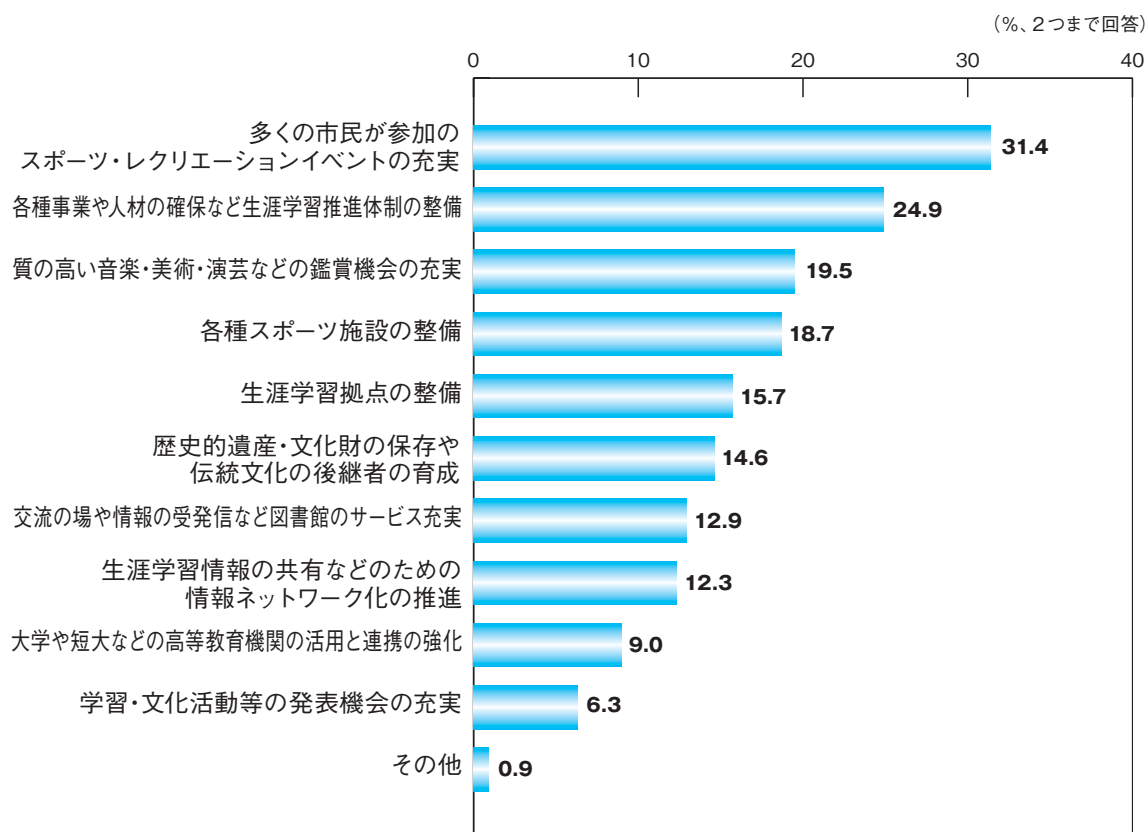
■ 図書館の利用状況 ■



| 年次 | 登録率 (%) | 貸出冊数 | 貸出冊数/人 | 蔵書数 |
|-------|---------|---------|--------|---------|
| 平成15年 | 52.9 | 192,417 | 7.9 | 144,635 |
| 平成16年 | 48.4 | 202,122 | 6.8 | 163,170 |
| 平成17年 | 51.2 | 188,173 | 6.4 | 172,110 |
| 平成18年 | 47.6 | 186,886 | 4.3 | 177,700 |
| 平成19年 | 34.7 | 193,764 | 4.5 | 191,666 |

資料：図書館

■ 学習活動・文化活動・スポーツ活動の活発化に必要なこと（住民アンケート） ■



3-1 住民ニーズに対応した生涯学習機会の提供

文化施設や公民館、図書館などの社会教育施設の連携により、多様な学習機会の充実や生涯学習の場の機能向上に努め、地域の絆を深めます。

- 中央公民館を中心に各地区でも自主活動が出来るための人材確保及び育成
- 大学との連携による生涯学習の充実
- 国際化、情報化、環境問題など時代に対応した講座の導入
- 食育向上につながる教室の開催
- 学習成果を発表する大会やイベントの開催
- 図書館の内容充実と利用者の拡大推進

3-2 住民主体の組織づくりと推進体制の整備

各種講座の充実やサークル活動など自主的活動を支援するとともに、地域リーダーの育成に対する支援を図ります。

- 生涯学習に関する情報の収集・提供
- 生涯学習ボランティア、各団体・グループの育成・支援
- 生涯学習指導体制の充実と指導者の育成



市立図書館

4 スポーツの振興

現状と課題

- 住民が健康で明るい生活を送るには、住民の年齢や体力にあったスポーツや健康づくりを行う必要があります。
- 本市では、九州全域での小学生を対象にしたレインボー九州少年ソフトボール大会や小中学生を対象にしたみやま旗争奪九州選抜剣道大会を開催しています。
- その他、毎年2月に体育協会主催で、清水山ロードレース大会等が開催され、多数の参加者があります。
- 本市には、体育館、グラウンド、テニスコート、プール、B&G海洋センターなどの各種体育施設があります。
- これらの施設は、スポーツを通じた体力の向上や健康増進のためのクラブ活動などに利用されているとともに、地域交流の場としても利用されています。
- 老朽化した施設については、随時整備補修を行っています。
- 総合型スポーツクラブ設立準備への説明会や研修会に参加しています。
- 今後は、だれでも自由に気軽にスポーツを楽しめる体制をつくるため、市内にあるスポーツ施設については、住民のニーズにあった有効活用を図るとともに、スポーツ活動の充実や指導者など人材の育成が必要となっています。
- 特に青少年のスポーツの振興を進め、青少年の規範意識の高揚やルールを守りチームワークを大切にするなどの意識を育てていく必要があります。

■ 主要体育施設一覧（平成19年度） ■

| 施設名 | 年間利用者数（人） |
|-------------|-----------|
| 瀬高体育センター | 36,265 |
| 山川体育センター | 32,737 |
| 高田体育館 | 32,577 |
| 瀬高B & Gセンター | 36,982 |
| 高田B & Gセンター | 25,127 |
| 瀬高B & Gプール | 7,786 |
| 高田B & Gプール | 6,263 |
| 瀬高テニスコート | 6,816 |
| 高田テニスコート | 4,291 |
| 山川テニスコート | 2,322 |
| 清水運動広場 | 7,922 |
| 山川農村広場 | 7,393 |
| 高田農村運動広場 | 14,479 |
| 合計 | 220,960 |

資料：生涯学習課

4-1 スポーツ活動の充実

住民が生涯にわたってスポーツを楽しめるよう、既存施設の充実に努めるとともに、関係機関との連携の中で、行政主導から民間主導へ事業展開を推し進め、生涯スポーツの拡大を図っていきます。

- 市全体及び地域独自のスポーツ大会開催の支援と推進
- 生涯スポーツについての啓発活動の推進
- 青少年のスポーツ振興による規範意識やルールを守りチームワークを大切にする心の育成の推進

4-2 団体・指導者の育成

地域に根ざしたスポーツ団体の育成、強化を図るとともにリーダーや指導者としての人材の育成、確保を図ります。

- 総合型地域スポーツクラブの設立支援
- 各スポーツ団体等への支援体制の充実と連携強化
- 各種目・分野の指導者の育成

4-3 スポーツ施設・設備の整備

多くの住民が安心して利用できるようスポーツ施設や設備の充実、強化を図ります。

- 大規模改修整備の年次計画化と財源確保
- 指定管理者制度導入の推進
- インターネットによる施設予約システムの構築

5 文化・芸術の振興と文化財の保護・活用

現状と課題

- 余暇の増大などを背景に、心の豊かさや情緒性が求められる今日、文化・芸術活動に対する住民ニーズもますます高まっています。
- 今後は住民の文化・芸術の発表の場や質の高い文化・芸術に触れる機会を設ける必要があります。
- 本市に数多く残る文化財や伝統芸能は地域の資源であり、郷土の誇りとなるものです。しかし、少子高齢化等の影響により保存・継承を担う後継者の育成が課題となっています。
- 本市では、各種行事や歴史講座、展示、広報等を通じて文化財の紹介に努めていますが、今後とも本市の風土を特色付ける地域の資源として顕彰と活用に努める必要があります。

■ 文化財一覧 ■

| 区分 | 名 称 | 区分 | 名 称 |
|-----|--------------------------------|-----|-----------|
| 国指定 | 武装石人 | 県指定 | 新開村旧隄記碑 |
| | 石神山古墳 | | 旧柳川藩干拓遺跡 |
| | 女山神籠石 | | 金栗遺跡 |
| | 清水寺本坊庭園 | | 長田のイチョウ |
| | 船小屋のゲンジボタル発生地 | | 清水寺三重塔 |
| | 新舟小屋のクスノキ林 | | 清水寺楼門 |
| | カササギ生息地 | | 法華経千部逆修板碑 |
| | 幸若舞 | | 貝製雲珠 |
| | 石棺 | | |
| | 大人形・大提灯 | | |
| | 大賀宗白寄進大般若経 | | |
| | 宝満神社奉納能楽 | | |
| | 芳司・本郷のドンキャンキャン (廣田八幡神社神幸行事) | | |
| | 筑後手すき和紙 | | |

資料：生涯学習課

5-1 伝統文化や郷土の歴史の保護・継承

地域の文化財や伝統行事、伝統芸能を保護・継承するとともに、誇りある伝統文化を幅広く周知するPR活動を推進します。

- 市主催のイベント等での積極的な活用
- ホームページ等の活用

5-2 文化・芸術活動の機会や場の充実

多様で質の高い文化・芸術に住民が接する機会を充実し、住民の主体的な芸術・文化活動への積極的な支援を行います。

併せて、文化・芸術活動の指導者やボランティアの育成を図るなど活動団体等の裾野の拡大を図ります。

- 質の高い音楽、美術、演芸などに触れ感性を磨く機会や場の充実
- 自主的に参加できる文化・芸術行事・イベントの企画と開催
- 公民館や図書館などの文化施設の有効活用

5-3 文化財の保護・保存

歴史・文化遺産の保存・公開や文化財に対する保護意識の高揚を図るとともに、歴史的価値の高い各種資料の保存、活用に努めます。

- 市内文化財めぐりや地域資源に関する講座や見学会等の開催
- 市内に埋もれている貴重な文化財の調査や研究等の推進



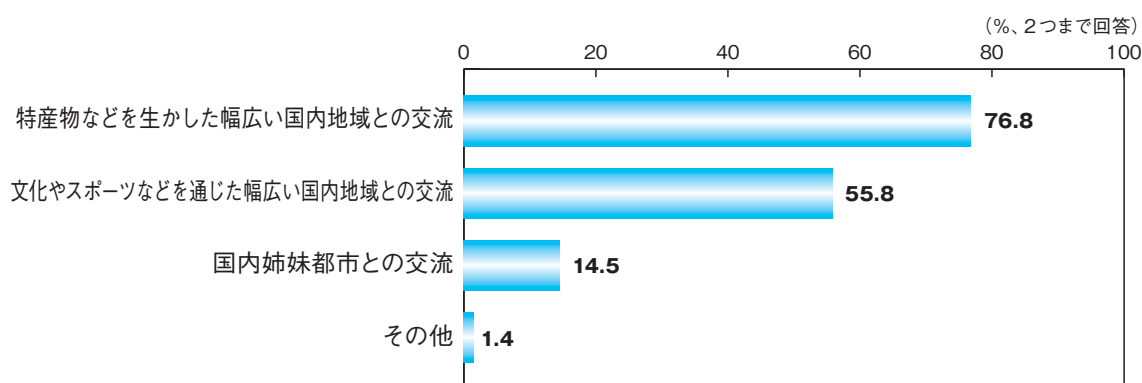
幸若舞

6 多様な交流の推進

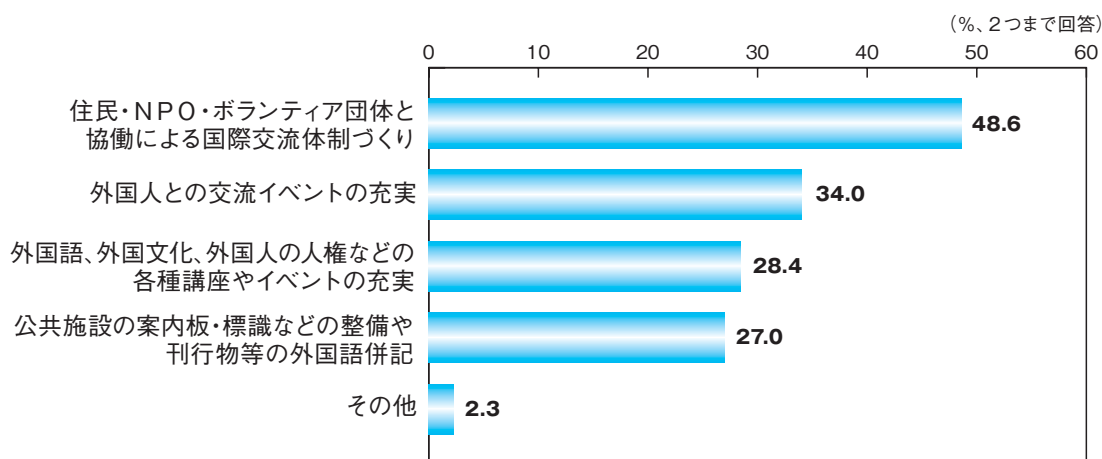
現状と課題

- 国内では福井県越前町との小学生の交流を行っています。
- 国際交流では、伝統文化や地域を誇りに思う自尊心や郷土愛を持つとともに、異文化について理解し尊重できる国際人の育成を図るため、国際交流が必要です。
- 本市は、アジア太平洋子ども会議のホームステイ事業（子ども大使の受入）や食文化交流事業を取り組んでいます。また、米国シアトル市との剣道交流を支援しています。

■ 市外との地域間交流について今後必要な取り組み（住民アンケート） ■



■ 国際交流について今後必要な取り組み（住民アンケート） ■



* ホームステイ：留学生などが、その国の一般家庭に寄宿し、生活体験をする制度

6-1 地域内・地域間交流の推進

スポーツ交流、まちづくり講座・教室などを通して共通の目的を持った住民同士が出会い交流する機会の創出に努めるとともに、世代を超えた自主的な交流を中心に、県内外の市町村との交流を推進します。

- 高齢者と若年者等世代間交流の促進
- 都市間交流の推進



アジア太平洋子ども会議(ホームステイ)

6-2 新たな発見をもたらす国際交流の促進

地域における国際感覚の醸成を図るとともに、住民団体等による国際交流活動を支援し官民協働による本市の歴史・文化や観光を通じた国際交流活動の推進に努めます。

国際社会に対応できる知識や能力の向上を図り、異文化を理解するとともに、地域の一体感を生み出す仕組みづくりのため関係機関等との連携強化を図ります。

- 外国語会話や外国生活体験者等の講演セミナーの開催
- 自主性を重視した海外からのホームステイ事業の受入れ支援
- 交流を推進する組織やリーダーの育成